

## 利害関係者アンケート 集計結果について

2005年8月31日 NPO法人 緑のダム北相模

利害関係者アンケートを以下のとおり実施しましたので、その集計結果をお知らせいたします。なお、アンケートは引き続き受け付けておりますので、当会の活動に関して何かお気づきの点がありましたら、いつでもご意見をお待ちしております。アンケート用紙は当会ホームページよりダウンロードできます。

### 1. アンケートの依頼状況

アンケートは、2005年7月1日～8月20日の間に実施した。アンケートの依頼方法は、(1)メール、(2)郵送(郵便、メール便)、(3)手渡し、のいずれかの方法によった。また、当会のホームページ上からもアンケート用紙をダウンロードできるようにした。行政、企業、NPOなどの組織が対象となる場合には、事前に電話により趣旨説明を行なった後、依頼した。この場合、電話で強く断られた場合には無理に依頼はしなかった。

表1に示すとおり、239件の「利害関係者」のうち208件にアンケートを依頼し、38件の回答が得られた(数字は重複がある)。

表1 リストアップした利害関係者とアンケートの依頼状況

| 対象者属性      | 対象者数 | 依頼数              | 回答数             | 非依頼の主な理由       |
|------------|------|------------------|-----------------|----------------|
| 土地所有者      | 3    | 3                | 0 <sup>1</sup>  |                |
| 隣接土地所有・権利者 | 26   | 19               | 3               | 対象部署不明、転居先不明   |
| 管理者        | 5    | 5                | 1               |                |
| 地域の関係者     | 15   | 12               | 2 <sup>4</sup>  | 電話で断り          |
| 県・流域の関係者   | 11   | 11               | 6               |                |
| 会員など       | 140  | 140 <sup>2</sup> | 19              |                |
| 活動の支援先など   | 39   | 18               | 7               | 電話で断り、追加リストアップ |
| 合計         | 239  | 208              | 38 <sup>3</sup> |                |

1: 口頭で意見あり。

2: ホームページ上でもアンケート用紙をダウンロードできるので正確な数は不明。

3: 重複があるため回答数の実数は32件である。

4: 地域関係者のうち、地区自治会へは8月27日に説明会、意見交換会を催した。この際に出された意見等は、別にとりまとめる予定である。

### 2. アンケートの回答状況

2005年8月31日現在のアンケートの回答数は36件である。回答者の属性をみると、会員(正会員、活動会員)からの回答が最も多く19件、次いで活動の支援先7件、県・流域の関係者6件などとなっている(表1、重複あり)。また、いわゆる市民グループ(NPO、NGO)からの回答は5件、行政からの回答は4件であった。

活動への参加の有無や当会の活動についての認知状況については、参加経験あり25件、情報として知っている7件、よく知らない4件であった。

### 3. 設問ごとの集計

設問は、F S Cの原則と規準に関連する 22 項目について、問題あり、問題なし、知らないの 3 択で回答する形式とした。以下、設問ごとの回答数の集計を示す。

#### (1) 一般的なことについて

|            | 問題あり | 問題なし | 知らない | 無回答 |
|------------|------|------|------|-----|
| 一般的な会の活動   | 1    | 29   | 3    | 3   |
| 一般的な会の運営   | 6    | 21   | 6    | 3   |
| 情報公開や社会的責任 | 2    | 25   | 5    | 4   |

#### (2) 森林管理について

|                         | 問題あり | 問題なし | 知らない | 無回答 |
|-------------------------|------|------|------|-----|
| 森づくり計画(長期・短期)           | 2    | 26   | 3    | 5   |
| 森づくり作業(伐採・植栽・保育など)      | 0    | 29   | 2    | 5   |
| 作業道の建設と維持               | 4    | 20   | 7    | 5   |
| 重要な林地の保護                | 0    | 28   | 3    | 5   |
| 間伐材等の管理                 | 9    | 14   | 6    | 7   |
| 化学薬品等の使用                | 0    | 22   | 9    | 5   |
| その他の活動(お花畑・養蜂・緑のダム学校など) | 2    | 25   | 4    | 5   |
| その他                     | 1    | 7    | 3    | 25  |

#### (3) 環境への配慮について

|                   | 問題あり | 問題なし | 知らない | 無回答 |
|-------------------|------|------|------|-----|
| 環境に与える影響の評価       | 0    | 27   | 3    | 6   |
| 希少な動植物の保護         | 2    | 25   | 5    | 4   |
| 生物多様性の保全          | 2    | 27   | 3    | 4   |
| 水資源の保全や土壌浸食の防止    | 0    | 27   | 4    | 5   |
| 景観への配慮            | 2    | 27   | 2    | 5   |
| 地域環境への配慮(騒音・ゴミなど) | 3    | 26   | 3    | 4   |
| その他               | 0    | 8    | 3    | 25  |

#### (4) 社会経済面について

|               | 問題あり | 問題なし | 知らない | 無回答 |
|---------------|------|------|------|-----|
| 作業員の健康と安全への配慮 | 5    | 23   | 4    | 4   |
| 地域社会との関係      | 1    | 22   | 8    | 5   |
| 地域社会への経済的貢献   | 4    | 20   | 7    | 4   |
| その他           | 0    | 7    | 5    | 24  |

#### 4. 自由意見

アンケートには自由解答欄も設けた。会員が自らの活動を省みて、かなり厳しいセルフチェックとなった感もあるが、非常に的確な意見が多い。

##### (1) 全般的なことについて

|                   |   |
|-------------------|---|
| <p>全般的な会の活動</p>   | <p>活動が多岐にわたり分かりにくい。一目で分かるように活動内容の要点を組織図風に表わしたものをつくるとよいと思う(正会員)。</p> <p>補助金に頼らなくても運営できる徐を常に考え、話し合うべきではないかと思えます。地に足を着けた活動をする事、補助金は、その不足分を補うという本来の趣旨を実現したいですね(正会員)。 全般的な会の運営も同じ</p>  |
| <p>全般的な会の運営</p>   | <p>現在、事務局の石村氏及び同夫人による事務一般、会計が集中し、相当の負担をかけている。今の会の資金状況では、専従職員を考えにくい、今後の発展のためにも早い時期に事務職員(パートでも)を採用すべきである(正会員)。</p> <p>会の運営が、組織面、資金面での問題で必ずしもうまくいっているように思えない: NPOの組織と活動の現状を見ると二面性がある。ひとつは森の体験、活動をのみ楽しみに参加している会員。もうひとつは、森林保全の運動として、他とのネットワークを図り、会を拡充、発展させようとしている会員。その双方のギャップが運営に支障をきたしている(正会員)。</p> |
| <p>情報公開や社会的責任</p> | <p>50年後の森林を構想されていることは重要だと思います。それを実現するには、継続的な財政・人的資源が必要ではないでしょうか。財政状況が一部しか分かりませんので、情報の公開をお願いいたします。また、継続して参加し、支援する会員の拡大や若年層の育成システムの構築が求められるのではないのでしょうか(県・流域)。</p>   |

##### (2) 森林管理について

|                      |   |
|----------------------|---|
| <p>森づくり計画(長期・短期)</p> | <p>この課題は考えれば考えるほど難しくなります。時代や社会的背景によって取り組みの仕方が変わってきて、それはその時なりに正しいと思ったことが、後の世では否定され</p> |
|----------------------|---|

|                           |  |
|---------------------------|--|
|                           | <p>てしまうことも起こっています。丹沢の高地では、理由が分からない林地の荒廃がひどいようです。人智でする森づくりの限界も感じています。個人的には我々の森は、里山交流の場にしたいのですが、観察道が欲しいです(正会員)。</p> <p>新たな植樹地について、もっと明確に目的や利用方法を決めた上で植樹したほうがよいと思う：小班 445 の伐採跡地の植樹 樹木見本園、養蜂の蜜源としての利用を検討。小班 55-2 の望星の森トチノキ植樹 自然林のように戻すのか、用材林とするのかよく分からない(活動会員)。</p> <p>基本的には問題なしですが、より多くの人を交えて計画について話し合う価値があるのではないのでしょうか(活動会員)。</p>  |
| <p>森づくり作業(伐採・植栽・保育など)</p> | <p>単独行動の危険性：熟練スタッフが集団から外れて 1 人で他のルートに入ってしまったことがあった。作業をする上で、エリア内で距離を取るのももちろんだが、そうではなくそもそもの集団から離れていってしまうのは、何かあったときに非常に危険である。あってからでは遅い。それでも気になる箇所をどうしても作業したいというのであれば、リーダーなり全員なり説明をして、他者もう 1 人と共に行動をとる、というような決め事をしっかりと刻んだほうが良いと思う(活動会員)。</p> <p>山に入るときは(作業の時)、1 人で入らないようにしたい。安全の為(活動会員)。</p> <p>チェーンソーの管理は、もう少し固定的にしてはどうでしょうか。1 番を使うのは誰と誰、という具合に(活動会員)。</p> <p>評価の尺度が難しい。素人集団としてならまあまあだが、プロとしてみた場合は全体に甘いのではないか。サボりが多いので分からない部分も多いが(正会員)。</p> <p>保育に関しては苗木の販売も視野に入れた作業を行っていけないでしょうか。ボサ刈りの時などには、もったいないなあ~と思うことが多々あります(活動会員)。</p> |
| <p>作業道の建設と維持</p>          | <p>申し訳ありませんが、現地を拝見していないので HP 上の情報で判断するしかありません。これらの情報についての記載は十分とは言えませんので、問題ありとさせていただきます</p>   |

|                 |  |
|-----------------|--|
|                 | <p>ました。ステークホルダーの中には私のように間接的な情報しかえることのできない人々がいると思います。今回のアンケートに関しての回答はこのことをもって不十分かもしれませんが、ご検討ください(県・流域)。</p> <p>間伐材等の管理も同じ</p> <p>急峻な嵐山に合った作業道の充実。：1.切り出した間伐材の引き出しが困難。作業道は必須。嵐山のような急峻な山のモデルとなる道づくりを。2.併せて道具、機器の現場への持ち込みを容易にする(正会員)。</p> <p>作業道の建設：これは山作業を始める前にやっておかねばならない手順ではないか。大勢の人がどやどやと山に入る前に(正会員)。</p> <p>引っ張りだこや梯子など、重い道具、長い道具を安全に運べるルートがあるとよいのでは？ 林床の保全面から見ても重要です(活動会員)。</p>  |
| <p>重要な林地の保護</p> | <p>特定の場所だけではなく、山全体を同じような気持ちで保護していく心構えを各自が持てたら良いですね(活動会員)。</p>  |
| <p>間伐材等の管理</p>  | <p>所有者鈴木さんは大径木の生産を考えているのかもしれませんが。その場合には間伐材は、択伐ということになります。最近、県産材で家を建てたいという人との接触が始まっています。そんな人が出てきたら必要に応じて択伐で出荷すれば良いと思います。人工乾燥でも良いのでストック場は必要ありません(正会員)。</p> <p>現在、林内の間伐材のうち、林道に近いものは適時搬出し、二次加工して使用されているが、奥にあるものは多くが放置されている。これらが&lt;良い方法&gt;で搬出できれば材での活用、二次加工が可能になり、地域への貢献も大きくなるだろう(正会員)。(4)</p> <p>地域社会への経済的貢献も同じ</p> <p>間伐材の利用方法が不明確であり、もっと積極的に利用したほうがよいと思う(活動会員)。</p> <p>林道近くにやっと出せた材を本職の方をお願いしても材が腐らないように積み直してほしい(正会員)。</p> <p>間伐材等の管理、活用がうまくいっていない：間伐材が現状で「切り捨て間伐」といわれているが、「森に金をかえず」本来の目的</p> |

|                         |   |
|-------------------------|---|
|                         | <p>のためには積極的に商品開発、市場開拓、流通など、まず都市への流れをつくり出すビジネスモデルをつくるのが先決である(正会員)。</p> <p>如何に有効利用するか。人が使うだけでなく、森の小動物たちによる利用も大賛成です。林床の朽ちた木を分解して、どれだけの生き物が利用しているのかを見てもらえば、皆さんに納得してもらえらるでしょう(活動会員)。</p>   |
| 化学薬品等の使用                | <p>チェンソーなどに使う燃料系のものは、火気厳禁として倉庫を分けるのが理想だと思います(活動会員)。</p>   |
| その他の活動(お花畑・養蜂・緑のダム学校など) | <p>養蜂プロジェクトは今どのように進んでいますか。今後のビジョンはどうですか。地域の緑化との関係等で関心があります(活動会員)。</p> <p>外国産樹木(野生化)の撤去について:野生化の危惧につき、具体例(野生化したという)を挙げた上で撤去してもらいたいと思います。あたかも悪いものを持ち込んだごとく書かれるのは心外です(正会員)。(3) 生物多様性の保全も同じ</p> <p>多彩な活動は大いに結構です。チャンスがあればもっといろいろなことを行いたいくらいです。どの班がどんなことをしているのか良く分からない部分もあるので、広報面の強化が必要かもしれません(活動会員)。</p> <p>お花畑について:花の種類について再考すべき。生物多様性保持の考えから、植物の移動は最小限にすべき。理想はその地域にある固有種でのお花畑をつくること。種や苗木を他地域から持ち込むことは制限すべきと思います(県・流域)。(3) 生物多様性の保全も同じ</p> |
| その他                     | <p>子供達が興味をもつ山に:我々はいずれ約10~20年で居なくなる。子供達に後を任せる施策がもっと必要ではなからうか。一度山にきた子供達がもう一度来てくれるように(正会員)。</p>  |

### (3)環境への配慮について

|             |                            |
|-------------|----------------------------|
| 環境に与える影響の評価 | 誰にでも簡単にできる調査のマニュアル化(活動会員)。 |
| 希少な動植物の保護   | 草花まで目がいっていない:刈り取られる        |

|                   |  |
|-------------------|--|
|                   | <p>ことが多い(正会員)。</p> <p>盗掘に対する対応が必要です。この森が私有地であること、禁猟区であること、違反者は見つけ次第警察に連絡するなど、注意を促す看板の設置。地元警察との連絡ラインも確立しておきたい：昨年末、養蜂場裏の森にてメジロ狩をする二人組みを確認。今年6月、同林内において焚き火の後を確認。メジロ狩りの跡か？(活動会員)</p>   |
| 生物多様性の保全          | <p>具体的な行動はとっていないと思うが(正会員)。</p> <p>モニタリングを続けながらの現状維持が基本だと思います(活動会員)。</p> <p>崩壊した跡地に植えた苗木に関して：(お花畑への植栽と同じように)(細かく言えばDNAまで考え)その土地に生きる植物を植えて欲しい。苗木もそこで育てていきたい(県・流域)。</p>   |
| 水資源の保全や土壌浸食の防止    |  |
| 景観への配慮            | <p>計画書(案)に記載されているとおり、巻枯らし間伐については、景観対策として十分な検討と、場合によっては事業者に委託し、通常の間伐も検討する必要がある(県・流域)。</p> <p>集合場所等が何か、飯場のような感じがします。整理はされていますが、徐々に景観的によくなっていったらよいのではないのでしょうか(正会員)。</p> <p>可能なら、物置を間伐材を利用して木質感のあるものに化粧したいところです。格子で囲むだけでも雰囲気ぐっと変わります(活動会員)。</p>  |
| 地域環境への配慮(騒音・ゴミなど) | <p>ゴミの持ち帰りなどは配慮されていると思いますが、多くの人に参加すればするだけ、トイレの問題は大きくなると思います。この点についてはどうお考えでしょうか。今後のご検討をお願いいたします(県・流域)。</p> <p>地域環境への配慮、特に騒音で近隣にご迷惑をかけていないか：1.最近では活動日に多くの人に参加される。大変に嬉しいことだ。しかし近隣の方には騒がしい日曜日になっていないだろうか。2.作業後のむささび亭は楽しい。これも騒音になっていないか、気になる(正会員)。</p> <p>地域社会との理解が深まれば、たとえ大きな音を立てていても、大きなトラブルに発展</p> |

|     |   |
|-----|---|
|     | することもないでしょう。人と人の信頼関係を強化することでこの問題には対応したいところです:チェーンソーの音がうるさくて眠れないとの苦情。(活動会員)。 |
| その他 |   |

(4)社会経済面について

|               |  |
|---------------|--|
| 作業員の健康と安全への配慮 | <p>安全作業マニュアルなどは素晴らしいと思います。多くの方が活用できるといいですね。しかし、作業内容による、作業員の休憩時間などの記載や配慮が必要ではないでしょうか。トイレの問題と合わせて、GAPなどでは、十分な配慮が求められる事項です(県・流域)。</p> <p>熱中症、バテ、雷などの対策マニュアルが必要である：予防のため(正会員)。</p> <p>トイレの増設、水場の新設：参加者が増加している。女性も増加している(正会員)。</p> <p>改善すべき点があるという意味で、安全面について問題ありとしました。安全に対する意識が高まっていますが、参加者が増えているので、各班で毎月参加している人の中から、どなたかに救命講習を受けておいてもらおうと、より安心して活動できるかと思えます。休日を返上して講習を受けに行ってもらおうのは難しいと思いますが(活動会員)。</p> <p>山には水場がないので、夏の時期、水分補給量が足りていないと感じます。作業を終えて汗だくで戻ってきた人は、熱がこもって真っ赤な顔をしています。熱中症予防の為に、作業の後に氷水をポリバケツに、お祭りの時のように用意してあげられたらと思えますが(活動会員)。</p> <p>安全作業の指導の充実：活動参加者の増加、特に未経験者が増大している今こそ安全作業の徹底を図ろう(正会員)。</p> |
| 地域社会との関係      | <p>今まで地域の人々をお誘いする試みを続けてはきたが、現状では思ったほどの参加が見られない。小原では可能性が見えてきたが、若柳ではさらに積極的な交流を試みる必要がある(正会員)。</p>   |
| 地域社会への経済的貢献   | <p>相模湖町商工会や小原町内会との接触が急速に進んでいます。地域通貨は、この概念を我が国に持ち込んだNHKの河邑厚徳さんを商工会に紹介したことに始まります。現</p>   |



|     |  |
|-----|--|
|     | <p>在、商工会とプロジェクトを組んで「県産材活用：小原の郷：小原町」の活性化に取り組んでいます(正会員)。</p> <p>間伐材などの流通・消費のシステムの構築が期待されます(県・流域)。</p> <p>地域社会への経済的貢献度が弱い：「若柳・嵐山の森」が現状では、NPO緑のダム北相模の知名度は高くなっているが、それが相模湖町の知名度、観光、地場産業にプラスになっていない点が、これからの問題として気になるところである(正会員)。</p> <p>恩着せがましくならない程度に、これまでの活動を羅列してみるのもいいかもしれませんが、当会のプロフィールのような感じですね(活動会員)。</p> |
| その他 |  |

(5)その他

|        |  |
|--------|--|
| 無回答の理由 | <p>問題あり、なしでは答えられない。大いに問題があるが、順調にクリヤーを行なっていると思います(正会員)。</p> <p>私が不勉強なのかもしれませんが、アンケートの各項目について、どの程度我々が対応していればF S Cの規準を満たすのかがよくわからないので、単純な三択の質問には答えにくいです(正会員)。</p> <p>地主の方の意向にそいたい (隣接土地所有・権利者)。他に丁重な手紙あり。</p> |
|--------|--|